

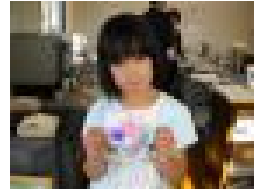
みらい通信

第33号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成22年3月8日(月)

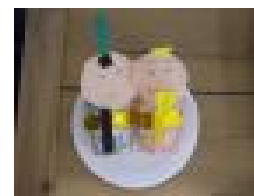
平成21年度のエコスクール

- 4月 ペットボトルでビーズづくり
- 5月 コネコネマイ石鹸づくり
- 6月 綿棒を使った立体
- 7月 牛乳パックで楽しい工作
- 9月 ぱたぱたアルバムづくり
- 10月 新聞紙を使った工作づくり
- 11月 くるくるエコたわしづくり
- 12月 地元の木を使ってクリスマスツリー
- 1月 夢灯りづくり
- 2月 ひな人形づくり



平成22年度もエコスクールを開催しますので、会員の皆さんもぜひ参加してください。集まった子どもたち(平均25人ぐらい)に元気をもたらえますよ。また、エコスクールのアイデアがあれば、ご連絡ください。

これまでの写真を掲載します。



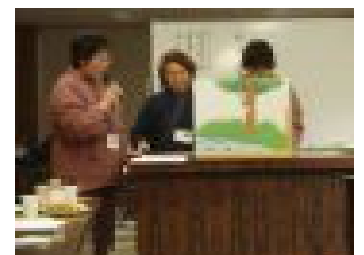
風のひと 土のひと交流会

3月6日(土)午後2時から紫波町中央公民館において、風のひと土のひと交流会(NPO法人地域パートナーシップ支援センター主催)が開催されました。(みらい研も参加集約に協力)

地元からは、しゃ・べーる、風・波デザイン、環境課のみなさん、みらい研究所の会員が集まりました。しゃ・べーるさんの紙芝居から始まり、各団体の活動を発表。主催団体会員の田中宏樹さんのミニコンサートもありました。彼は、来年度「環境新世紀」10周年を迎える紫波町にオリジナル曲を贈るため、2度紫波町を訪れています。まだ製作途中の曲を少し披露してくれました。あまりたくさんの人を集められませ

んでしたが、来年度の交流につながるきっかけづくりができたと思います。

次回の交流会が楽しみです。



報告

理事会

日時：平成22年3月3日(水) 午後6時30分から

参加者：阿部、吉田(百)、八重畑、松坂、小野寺、千葉、高橋(淳)、佐藤、松島(事務局)

内容：1 みらい研と倶楽部の事業報告

3 その他

2 検討事項

監査意見書の回答について

会員を対象とした研修会について

風のひと 土のひと交流会について

岩手大学非常勤講師派遣について

HPの作成について

職員の労働条件について

町内のイベント紹介

幸せの黄色いレシートキャンペーン



次回理事会：平成22年4月7日(水)

倶楽部報告

食話倶楽部

予定していた部会が残念ながら中止になりました。

食話倶楽部でも来年度の事業について、色々な案を出し合い、会員の活動が活発になればと考えています。

食にまつわる勉強会を開催していく予定です。皆さんのアイデアをお寄せください。

次回部会

3月10日(水)18時30分
みらい研究所事務所

またあした倶楽部

日にち 2月26日(金)

参加者 3人

内容

今年度の事業について

聞き取り発表会

3月24日(水)10時~

保健センター

来年度の事業について

エコスクール野外編

聞き取り発表会

地元を知る勉強会

次回部会

3月24日(水)18時30分
みらい研究所事務所

山と森倶楽部

日にち 2月16日(火)

参加者 8人

内容

来年度の事業について

平成の森事業日程

内容

國學院間伐事業の場所

下見確認

エコスクールの内容

山や森についての勉強

会を検討

次回部会

3月16日(火)18時30分
みらい研究所事務所

平成22年度の事業について

平成22年度も紫波町、山王海土地改良区からの委託事業、岩手大学や國學院大学のコーディネート事業を行います。これまでも上記以外の事業を行ったこともありましたが、来年度は、会員や町民向けの事業もどんどん展開していこうと考えています。

【例】(まだ未定です)

山と森倶楽部は、木を知るための勉強会や森林ガイド養成講座などはいかがでしょうか。食話倶楽部は、地元野菜を使った料理教室。またあした倶楽部は、湧き水探訪などなど。縁があって会員になっていただいたのですから、事業のお手伝いだけでなく、ご自分のスキルアップにもつながる内容の事業であればと考えています。こんな講座をやってほしい。あの先生の話を知りたい。そんなお話を待っています。(理事会)



【編集後記】

3月に入り、思いがけない大雪にびっくりしました。

今、事務局は、今年度の反省と来年度の計画づくりで大忙しです。うれしいこともあります。年度末になり、部会が活発になってきました。来年度も継続していきたいですね。(事務局)